

H19.7 台風4号による出水(速報)

■ 気象概要

台風4号は、大型で非常に強い状態で九州南部に上陸し、15日午後、関東地方に最接近しました。この台風と梅雨前線の影響により関東地方の広い範囲に大雨をもたらしました。

鬼怒川・小貝川流域においても、14日早朝から降り始め、台風が接近した15日午前中には、強い雨となり、鬼怒川上流の日光雨量観測所で累積雨量158mm、小貝川上流の祖母井雨量観測所で累積雨量104mmを記録しました。



■ 水位状況

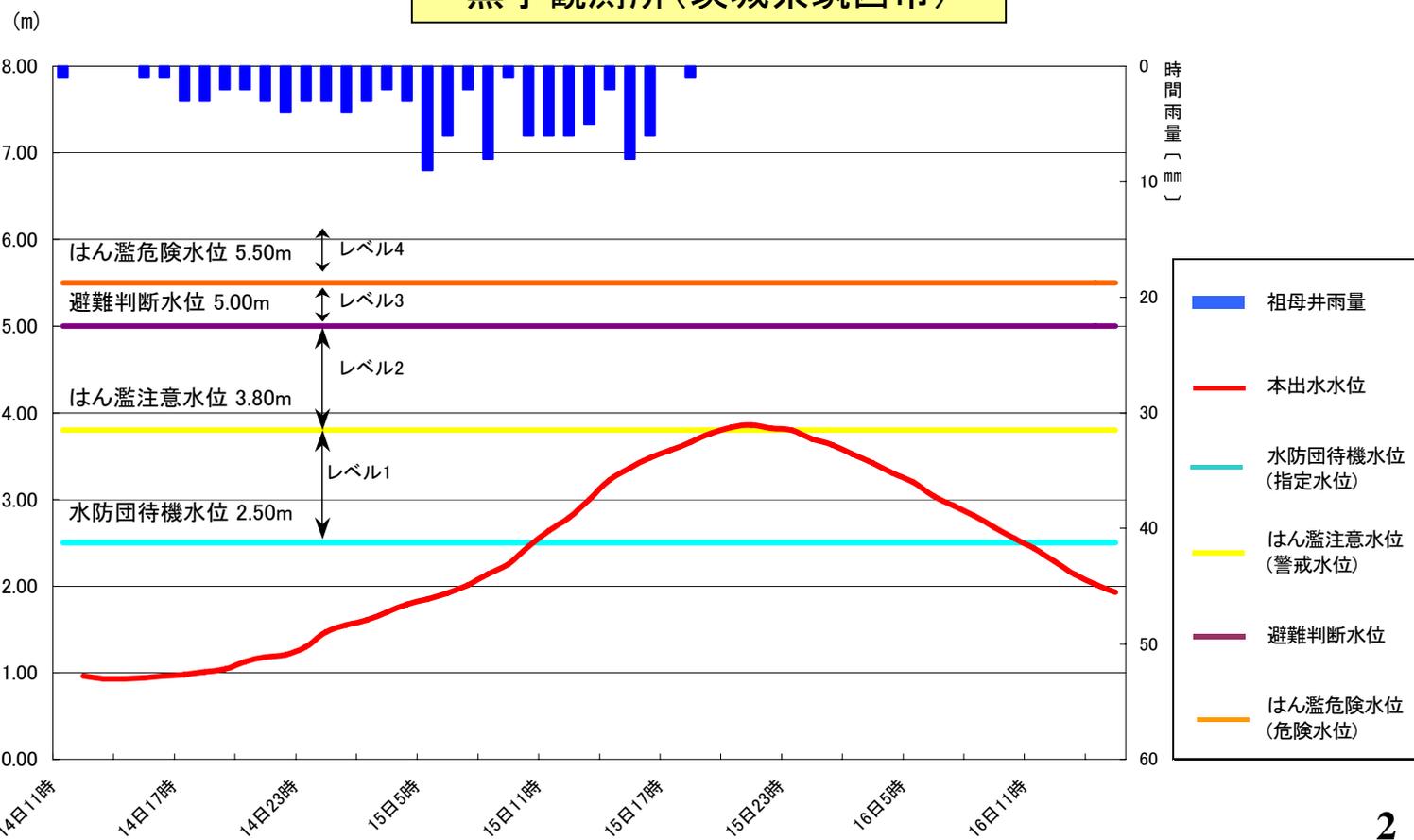
今回の台風4号及び梅雨前線による大雨で鬼怒川・小貝川において下表に示す通り、平常時と比べて著しく水位が上昇しました。小貝川においては、上流の三谷と黒子基準観測所で、はん濫注意水位を超える出水となりました。

※速報値

観測所	鬼怒川				小貝川			
	佐貫(下)	石井(右)	川島	鬼怒川水海道	三谷	黒子	上郷	小貝川水海道
水防団待機水位 (m)	1.50	1.00	0.00	1.50	1.40	2.50	3.00	3.80
はん濫注意水位 (m)	2.30	1.50	1.10	3.50	1.80	3.80	3.60	4.60
避難判断水位 (m)	2.40	2.10	2.20	5.40	2.50	5.00	4.60	5.70
はん濫危険水位 (m)	3.40	3.10	3.30	6.20	3.10	5.50	5.10	6.20
本出水最高水位 (m)	0.19	0.25	-0.31	0.51	1.82	3.86	3.20	4.10
					レベル2	レベル2	レベル1	レベル1
水防団待機水位継続時間 (h)	-	-	-	-	12	20	10	13
はん濫注意水位継続時間 (h)	-	-	-	-	2	4	-	-



黒子観測所(茨城県筑西市)



■ 排水機場による効果

今回の出水では、排水機場の稼働により、支川水位の上昇を抑制し、水害の防止に効果を発揮しました。排水機場による排水量は、190万^m3以上（深さ1.5m、幅15mの25mプール約3,400杯）におよびました。

排水機場の稼働状況

施設名	運転時間(h)	累積排水量(m ³)
川神馬排水機場(大谷川)	6.0	10,800
高木川排水機場(小貝川)	10.7	332,100
糸繰川排水機場(小貝川)	4.6	251,100
伊丹排水機場(小貝川)	23.6	1,320,660
古内樋管ポンプ設備(小貝川)	1.3	2,250
合計	150.1	1,916,910

■ 出水時の状況



平常時



本出水時

小貝川71.5k付近 三谷橋下流(二宮町高田地先)



平常時



本出水時

小貝川60.4k付近 村田堰(筑西市茂田地先)



平常時



本出水時

小貝川53.5k付近 黒子橋(筑西市西保末地先)